

尚美学園大学芸術情報学部研究紀要投稿ガイドライン

2026年 6月 2日改訂
2024年 6月 4日改訂
2023年 7月12日改訂
2021年12月21日改訂
2019年11月26日制定

尚美学園大学メディア紀要委員会

0. はじめに

芸術情報学部は「芸術」と「情報（コンピュータ）」をキーワードとする学部である。芸術情報学部の紀要論文集では、主に芸術表現に関する論文や作品解説、研究ノート等を掲載する。

1. 投稿資格

執筆者は本学の専任教員、非常勤講師、および、芸術情報研究科の大学院生とする。
なお、編集委員会の承認により、共同執筆者には上記以外の者を含むことができる。

2. 投稿条件

- ・未発表のものに限る。
- ・本学の学術情報リポジトリで公開することを前提とし、掲載はファミリーネームのアルファベット順とする。

3. 投稿原稿の種類

投稿原稿の種類を下記から選び、投稿申込書の原稿種類の欄に明記すること。

- ① 論文・作品・・・独創的かつ新規な結論を持つ論述。新規性または独自性のある作品に関する解説。作品を解説する場合、自作の作品の解説の他、自作ではなくても解釈が他の研究者に見られない新規性がある場合は可。
- ② 研究ノート・・・結論に至らない「報告」「資料」「データ」「解説」「事例研究」等。
- ③ 翻訳
- ④ 書評

4. 投稿要項

- ・本文は原則として日本語または英語とし、横書きとする。
- ・提出原稿はA4版で作成したレイアウト済みの原稿とする。なお、提出に当たっては、MS-WORDデータとPDFデータをメディア紀要委員会（art-bulletin@s.shobi-u.ac.jp）に電子メールで送付すること。カラー画像が多いなどの理由によりファイルサイズが大きくなり、メールで送付できない場合は、インターネット上で共有するなどの方法を取り、その旨メディア紀要委員会に連絡すること。
- ・書式

和文原稿／ページ設定：一行【40文字】行数【40行】余白【上下左右各3.0cm】フォントサイズ【10.5ポイント】

英文原稿／ページ設定：行数【40行】余白【上下左右各3.0cm】フォントサイズ【10.5ポイント】

- ・原稿の長さは最大20ページを目途とし、MS-WORDによる原稿のデータサイズは30MB以下とする。
- ・原稿の1ページ目には、次の項目を含むこと。ただし、本文が英語表記の原稿は全て英文のみとする。
表題：（副題を含む）は和文と英文を併記し、和文、英文の順とする。
氏名：日本語表記および英語表記[family name, first name]の順とする。
概要：和文概要（400字程度）並びに英文概要（100語程度）
なお、概要は和文、英文の順とする。
キーワード：和文と英文それぞれ6個以内とする。

- ・章立ては以下による。

序論（はじめに etc.）

本文（項目ごとに1、2、3、…と見出しを立て、それぞれの項目内でも、必要に応じて、小見出しを付けるなど。本学リポジトリの紀要論文等参照。）

結論（むすび etc.） 引用文

- ・引用文献は末尾に下記の様式で本文引用順に提示する。

なお、本文での引用は番号と閉じ括弧を上付きで表示する。

（例：引用の例1） 日本語文献

著作：著者名『書名』出版社名、出版年、頁。

訳書：著者名『書名』訳者名、出版社名、出版年、頁。

論文：著者名「論文名」『雑誌名』巻数（号数）、出版社、出版年、頁。

- ・外国語文献

著作：Author's Surname, First name, *Name of the Book*. Place of publication, Publisher, page.

論文：Author's Surname, First name, "Title of the Paper". *Name of the Journal*, volume, number, Place of publication, Publisher, page.

引用文献の例：

- 1) 海部洋介『人類がたどってきた道“文化の多様化”の起源を探る』日本放送出版協会、2005年、72-5頁。
- 2) ゴンブリッチ, E. H. 『美術の歩み 上』友部直訳、美術出版社、1972年、68頁。
- 3) Hartshorne, Charles, *Born to sing: An Interpretation and World Survey of Bird Song*. Bloomington, Indiana University Press, 1973, pp.101-9.
- 4) Robinson, Jenifer, "Music as a Representational Art". *Philosophy of Music*, vol.2, 14, New York, Haven Publication, 1987, p.186.

5. 倫理的配慮

人を対象とした研究については、本学「人を対象とする研究に関する倫理規程」に基づき、本学倫理審査委員会等を受審し承認を受けた上で、その旨を投稿原稿中に明記しなければならない。

6. 査読

投稿された原稿内容に関する査読は行わない。ただし、提出された原稿を紀要論文集に掲載する際の種類（論文・作品解説・研究ノート、その他）は、執筆者が予め提示した種類をふまえ、委員会が検討する。執筆者は委員会からの検討結果または編集に関わる修正を含む問い合わせに速やかに対応するものとする。また委員会では、執筆のサポートは行わない。

7. 校正

受理された投稿原稿の著者による校正は初校のみとし、入校原稿全体の10%を超える修正は認められない。

8. 著作権

- ・掲載された論文等の著作権は著者に帰属する。本紀要に投稿された論文等が、第三者の権利等を侵害した場合、当該論文等の著作者が一切の責任を負うものとする。
- ・本紀要に掲載された論文等を、他に転載する場合には本紀要に掲載されている旨を明記しなくてはならない。